



のブリッジ余談（第100回）

2017.11.17

ハイロー・キュービッド

今回で「余談」は100回を迎えました。今後もブリッジを楽しもうとする方々に役立つような題材を載せる予定です。101回以降もご期待ください。

♠ AJ962
♥ A8763
♦ Q
♣ A4

Q] このハンドを持っている時、パートナーが1Dとオープン、自分の右手が2NT（Lower 2 Suiter = ♡ + ♣）とオーバーコールしてきました。何とビッドするのがよいでしょうか？Hi-Lo キュービッドは使っています。

A] Hi-Lo キュービッドには丁度よいハンドにも見えますが、気に入らない点は、オープンストートのダイヤモンドがシングルトンであることです。逆に良い点はオポーネントストートの♥と♣にはエースがあること、全体で15HCPあること、シングルトンではあるが♦ Qはパートナーストートなので役立つカードであること、スペードストートはまあまあよい内容であること等でしょう。スペードが5-4フィットすればスラムも視野に入れます。Hi-Lo キュービッドでは、Hi キュービッドはサポートありを示し、Lo キュービッドはアザーストートを示すのですが、それは5枚を保証するのでしょうか？普通は4枚しか保証しないと思います。だから普通そこで5-3フィットを見付けるのは難しいのです（4-3フィット覚悟で3枚サポートすれば別ですが）。

また Hi-Lo キュービッドでの問題点の1つに、マイナーオープンに対する Lower 2 Suiter オーバーコールが使われた時に生じます。

1D - (2NT) - { 3C Sストート リミットレイズ以上
3H Dサポートリミットレイズ以上

となるのですが3Hに対してオープンナーがダイヤモンドだけなら4レベルになってしまいます。したがって1Dオープンの時に限って例外的に3Cと3Hの意味を逆転させる方法を推奨する人たちもいます。ダイヤモンドサポートがあつてリミットレイズ以上の時、3Cで示すと3Dで止まれるからです。もっとも3Hといってスペードストートを示した時に、オープンナーはフィットしていなかった時は4Dという羽目になりますから、4Dに耐えられるようなセミサポートを持っておらずまたオポーネントストートのストッパーがない時に問題です。（3NTをビッドできませんから）このハンドはDシングルトンですから問題です。（1Cオープンに対して Lower 2 Suiter オーバーコールが使われた時も同じく4レベルになりますが）

最初の例では、全部のハンドは次頁のようになっていました。注意深くプレイをするとダミーリバーサルで7Sが出来ます。

♠ KQ87
♥ 5
♦ AK987
♣ Q107
♠ 1053
♥ 94
♦ J5432
♣ 865
♠ 4
♥ KQJ102
♦ 106
♣ KJ932
♠ AJ962
♥ A8763
♦ Q
♣ A4

はできません。

7Sに到達する道筋はたぶん
1D - (2NT) - 3H - (P)
4S - (P) - 4NT? - (P)
5S - (P) - 5NT? - (P)
6D - (P) - 7S//

オープンナーに6枚ダイヤモンドや、5枚ダイヤモンドでもDJがあれば簡単でしょうし、またS:KQ10xでもクロスラフで出来ますから簡単でしょう。また4Sのところで、4Hと言えば、それはスプリンターでスペードフィットを示す事になるでしょう！それであとは同じでしょうが、Sは確信をもって7Sをビッドできるでしょう。

Q] 相手に2スター・オーバーコールされたとき、強さのあるフィットの示し方あるいは第4のストートの示し方は判りましたが、ダブルというとどのような意味になるのでしょうか？

A] バランスハンドで強いことを表す方法に使われます。バランスハンドの時はNTコントラクトに行くか、相手のコントラクトをダブルかですが、これはパートナーどうしの協力によって選択をしていきます。

今回は読者からの質問に答える形にしました。これからも機を見て続けたいと思いますので質問のある方は遠慮無くお寄せください